

令和4年度 核医学概論 期末試験
試験範囲は、講義1～13 + α

7/25 9:00 – 10:00 Webで試験を行います。
選択問題 100問

回答は、

解答用紙ファイル名に学生番号と氏名を追記して、
下記アドレスにメールに添付して送って下さい。

hokudaikatoh@gmail.com

1

【問題 4-98】(平成 10)

^{99m}Tc -MAA の集積機序はどれか。

1. 能動輸送
2. 受動拡散
3. 生合成
4. 貪食能
5. 微小塞栓

〔注解〕 肺血流シンチグラフィに用いる、
 ^{99m}Tc -MAA の集積機序は肺毛細血管の微小塞栓である。

5

2

^{99m}Tc -MAA pulmonary perfusion scintigraphy
• ^{99m}Tc 141 keV、コリメータ LEHR。

^{99m}Tc -MAA (macro-aggregated albumin)
(大凝集アルブミン)

185MBq 静脈投与2分後から撮像可能。
肺野正面、背面、左右後斜位プラナー像。
MAAは直径10～50μmで、肺動脈末梢毛細血管
を通過できず停滞するので、(微小塞栓)
肺動脈血流分布が画像化される。

3

21年 国家試験

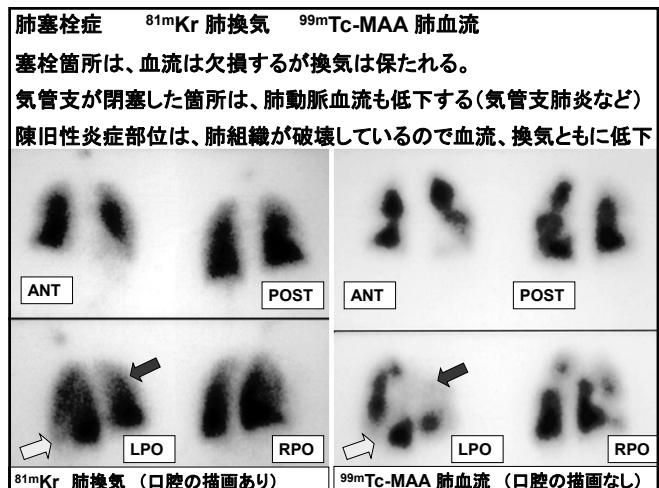
解答 1

^{81m}Kr 肺換気シンチグラフィで正しいのはどれか。

1. 多方向からの撮影に適している。
2. 動態撮影で洗い出しを評価する。
3. 高エネルギー用コリメータを用いる。
4. 撮影の際には閉鎖回路が必要となる。
5. 核種の物理学的半減期は約 13 時間である。

4

^{81m}Kr (クリプトン) 肺換気 (pulmonary ventilation)
半減期 13秒 希ガス 190 keV MEGP コリメータ
クリプトンガスジェネレータ (^{81}Rb - ^{81m}Kr 放射平衡) で
 ^{81m}Kr ガスを持続吸入しながら撮像。
胸部の正面、背面、左右前斜位、左右後斜位を撮像。
気管支の通過性などを調べる。半減期が非常に短いので
肺塞栓を疑う場合は、 ^{99m}Tc -MAA 肺血流シンチグラフィの
直前に(MAA注射前)実施可能で、診断精度が向上する。
(肺塞栓は、肺血流は欠損するが、吸気分布は正常。)
(陳旧性肺炎では肺血流、吸気ともに欠損するので鑑別可)



5

6

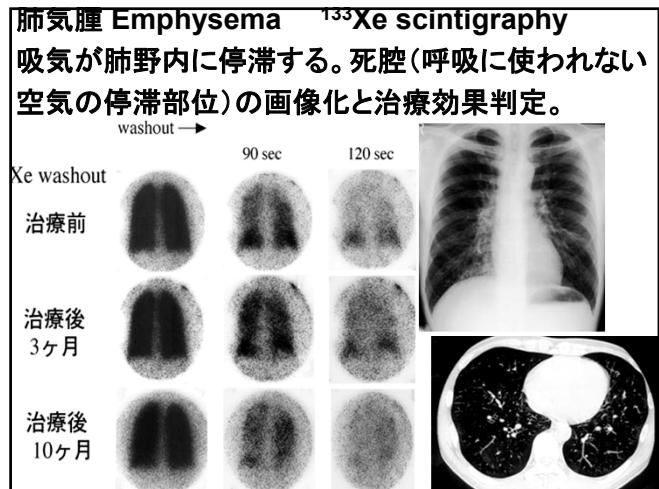
^{133}Xe 肺換気シンチグラフィ ventilation scintigraphy

^{133}Xe (ゼノン、キセノン) 半減期 5.3日 81keV LEGP

$^{81\text{m}}\text{Kr}$ (半減期13秒)と異なり、半減期の長い希ガス。深呼吸を繰り返しながら185MBq経口吸入し、吸入を止めて数分間、胸部背面、正面をダイナミック撮像。肺胞内に分布した空気の排出状態(washout)、気管支、細気管支の通過性を調べる検査。

肺気腫などの慢性閉塞性肺疾患(COPD ; chronic obstructive pulmonary disease)の重症度判定や治療効果判定に有用。

7



8

【問題 4-97】(平成 9)

- $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -フチン酸が肝臓に集積する機序はどれか。
1. 能動輸送
 2. 貪食能
 3. 単純拡散
 4. 生合成
 5. 毛細管塞栓
- ^{201}TI (Na-Kイオンポンプ)
コロイド
 ^{123}I -IMP, $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -RBC(血液プール像)など
 ^{11}C -メチオニン(必須アミノ酸; 蛋白合成)
 $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -MAA

〔注解〕 $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -フチン酸が肝臓に集積するのは肝細胞の貪食能による。

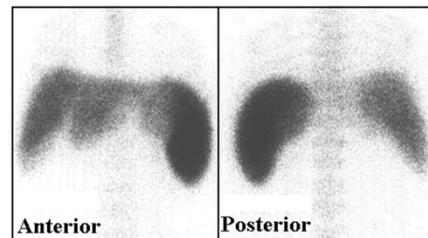
2

9

$^{99\text{m}}\text{Tc-Sn}$ -colloid(スズコロイド) 肝シンチグラフィ $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -phytate(フチン酸) 肝シンチグラフィ

フチン酸は、血中でカルシウムと結合してコロイドを形成する。コロイドは、肝、脾、骨髄の網内系細胞(クッパー細胞など)に貪食(どんしょく)される。

投与20~30後に撮像。プラナー像、SPECT像



肝硬変 cirrhosis 脾臓の腫大、肝外側区腫大、肝右葉萎縮

10

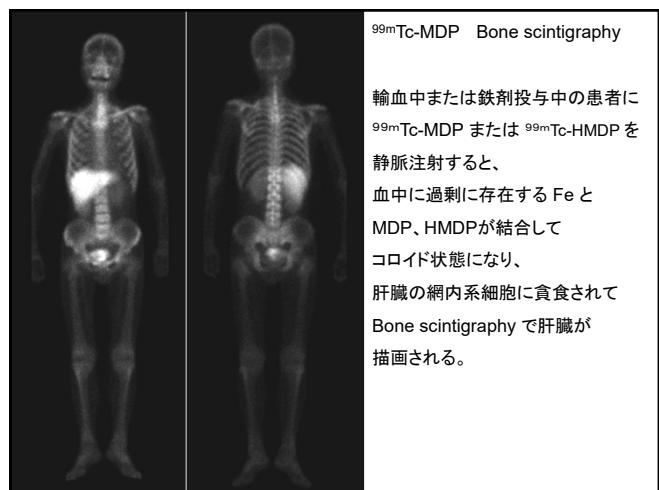
21年 国家試験

解答 1

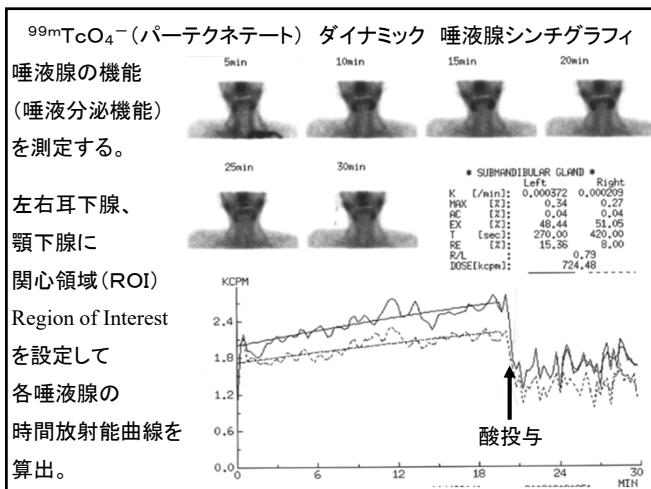
正しいのはどれか。

1. $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -スズコロイド静注後に脾臓が描出される。
2. 消化管出血シンチグラフィには ^{111}In 標識血小板を用いる。
3. メッケル憩室シンチグラフィでは $^{99\text{m}}\text{TcO}_4^-$ を経口投与する。
4. $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -GSAは $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -PMTよりも速やかに肝から洗い出される。
5. 唾液腺シンチグラフィではビタミンC負荷後に放射性医薬品を投与する。

11



12



13

【問題 4-95】(平成 12)

健常人で肝臓が描出されないのはどれか。

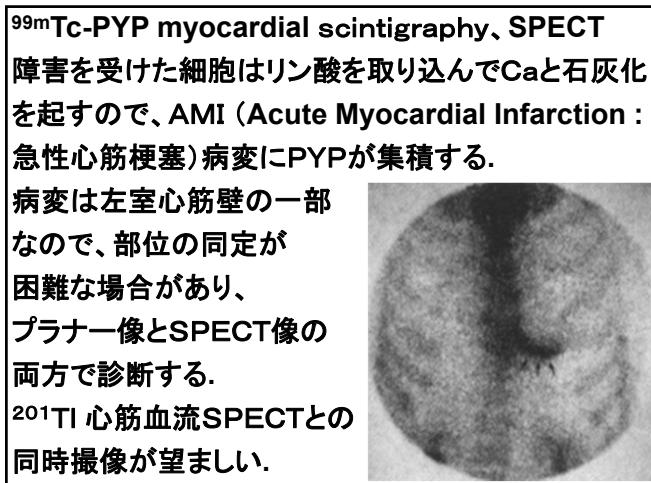
1. ^{99m}Tc -スズコロイド
2. ^{99m}Tc -フチン酸
3. ^{99m}Tc -ピロリン酸
4. ^{99m}Tc -PMT
5. ^{99m}Tc -GSA

【注解】 3. ^{99m}Tc -ピロリン酸は、骨シンチグラフィや心筋梗塞シンチグラフィに用いられ、健常人で肝臓が描出されることはない。

^{99m}Tc -スズコロイド、 ^{99m}Tc -フチン酸、 ^{99m}Tc -PMT、 ^{99m}Tc -GSA は、いずれも投与後肝臓に集積し、肝臓が描出される。

3

14



15

$^{99m}\text{Tc-PYP}$ myocardial scintigraphy、SPECT

- ^{99m}Tc 141 keV
- LEHR または LEGP コリメータ

$^{99m}\text{Tc-PYP}$ (pyrophosphate) (ピロリン酸)

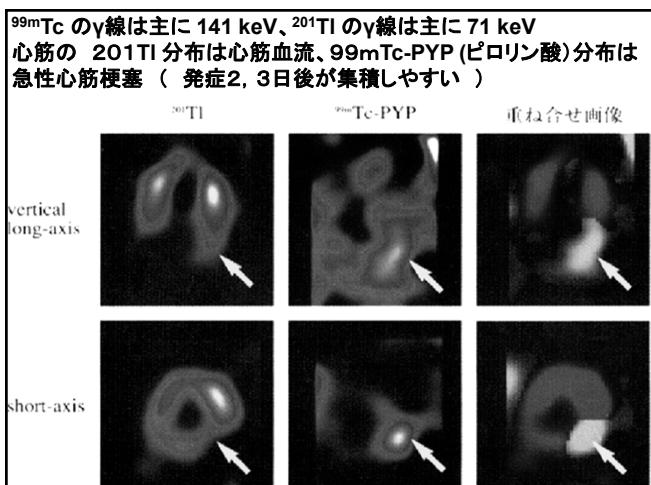
370~740MBq 静脈投与

急性心筋梗塞(AMI)発症2~3日後に行う。
発症1週間以上経つと病変にピロリン酸集積なし。

投与後3, 4時間後に血液中、心内腔の放射能が
低下した時間に撮像する。

プラナー像とSPECT像を撮る。

16



17

$^{99m}\text{Tc-GSA}$ 肝シンチグラフィ (アシアロ肝シンチ)

- ^{99m}Tc 141 keV、コリメータ LEHR。

$^{99m}\text{Tc-GSA}$ 185MBq (GSA 3mg) 静脈注射とともに、
20分以上の心臓、肝臓の正面ダイナミック収集
(128x128マトリックス)。その後、SPECT撮像。

GSA(ガラクトシル血清アルブミン)が 肝細胞表面の
アシアロ糖タンパクに結合し、肝細胞の分布を画像化する。
肝の局所的評価および肝予備能評価に用いられる。

18

GSAの肝予備能の指標

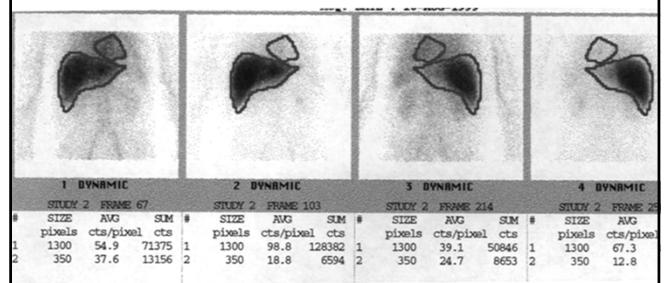
HH15 : 3分後に対する15分後の心カウント比。
(GSAの血中停滞率。肝機能が悪いと高い値。)

LHL15 : 15分後における(心+肝)に対する肝カウント比。
(GSAの肝摂取率。肝機能が悪いと低い値。)

GSAのHH15, LHL15と慢性肝疾患重症度との関係

重症度	HH15	LHL15
正常	0.54 ± 0.04	0.94 ± 0.02
軽度	0.63 ± 0.08	0.91 ± 0.04
中等度	0.74 ± 0.08	0.84 ± 0.07
重症	0.83 ± 0.05	0.71 ± 0.11

19

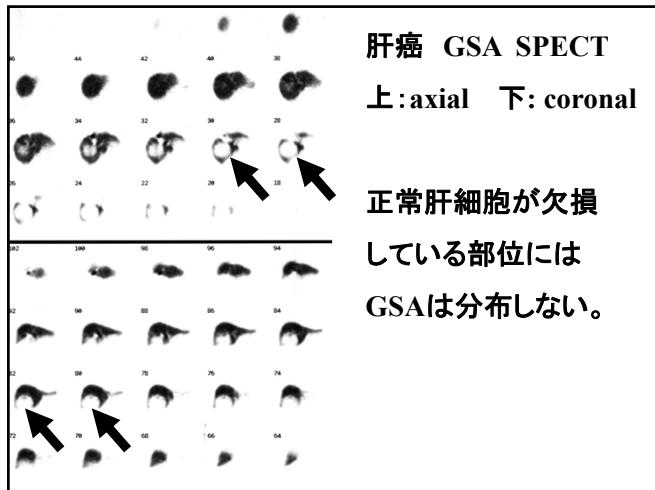


正常例

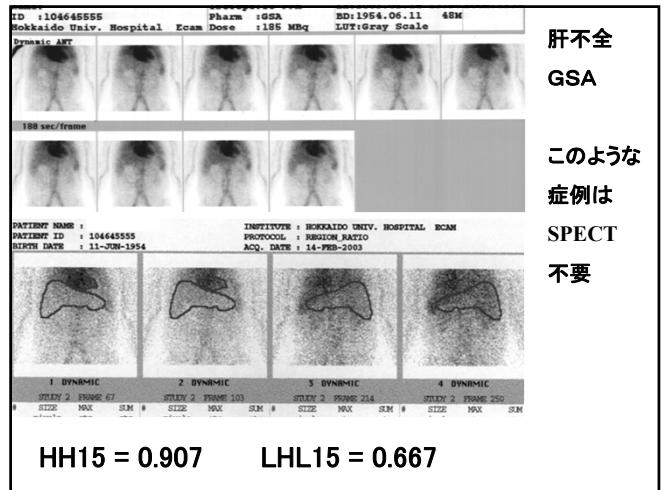
$$HH15 = H15 / H3 = 0.50$$

$$LHL15 = L15 / (L15 + H15) = 0.95$$

20



21



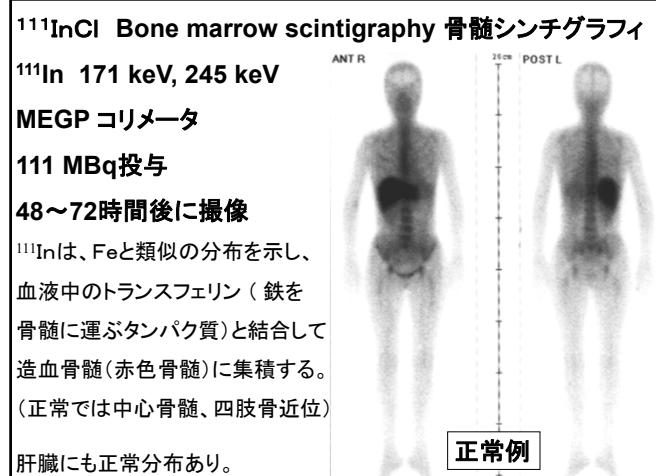
22

【問題 4-96】(平成 13)

放射性医薬品と適応疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. ^{111}In -塩化インジウム 一心筋梗塞
2. ^{123}I 甲状腺機能亢進症
3. ^{201}Tl -塩化タリウム 悪性リンパ腫
4. $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -DTPA 肝癌
5. $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -MDP 亜急性甲状腺炎

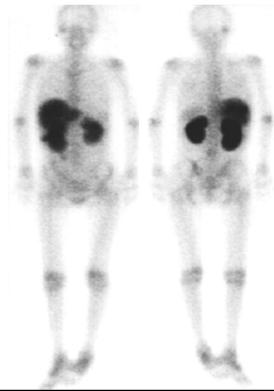
23



24

再生不良性貧血(Aplastic anemia)
(骨髓全体の造血機能が廃絶する疾患)

骨髄の機能が
びまん性に低下し、
 $^{111}\text{InCl}$ の集積部位が
なくなるので
腎臓に多く排泄されて
腎臓の描出が強くなる。



25

^{123}I thyroid scintigraphy
 ^{123}I γ線 159KeV 半減期 13時間
LEHRコリメータ または ^{123}I 専用コリメータ
 ^{123}I は、内服薬 (NaI)。3.7~7.4 MBq内服

内服前に、薬を頸部ファントムに入れて撮像。
(最近では内服薬をガンマカメラで撮像して
投与カウントを測定する簡便法が多い。)

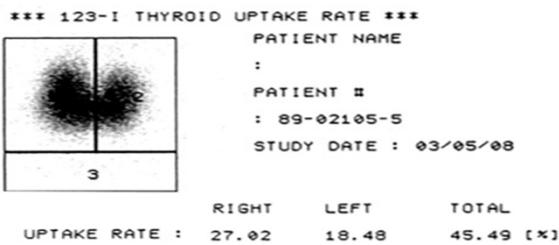
内服3時間後と24時間後にプラナー撮像。
3時間後と24時間後の画像から
甲状腺ヨード摂取率を算出する。
正常値(24時間) 10~40%

検査1~2週間前から、ヨード制限食の前処置が
必要。甲状腺治療薬を内服している場合は
内服を検査1~2週間前から中止する。



26

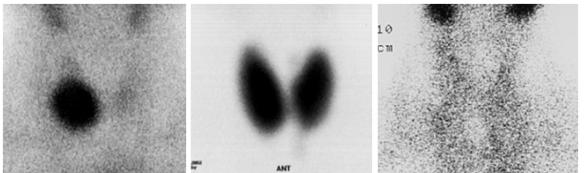
甲状腺ヨード摂取率試験 (現在はガンマカメラで撮った画像で行う)
 ^{123}I を内服 (現在では ^{131}I は甲状腺ヨード摂取率試験には使わない)
24時間後(必要あれば3時間後も)に甲状腺への ^{123}I 摂取量を測定。
内服した放射能の10~40%が正常。24時間値が3時間値より高いのが正常。(逆なら甲状腺ホルモン産生障害(ヨード有機化障害))
検査の前処置として1~2週間のヨード制限食が必要。



27

甲状腺機能亢進症の鑑別 (^{123}I または $^{99m}\text{TcO}_4^-$)
(血液中の甲状腺ホルモンが過剰な疾患)

局所的な亢進 びまん性亢進 びまん性低下



プランマー病 バセドウ病 垂急性甲状腺炎
ホルモン産生機能をもつ良性腺腫 甲状腺がびまん性に機能亢進
TSHが低下するので 正常甲状腺は機能低下。 ウイルス感染で炎症が生じ甲状腺組織が破壊され血液中にホルモンが過剰放出(一過性)

28

【問題 4-99】(平成 11)

健常人で尿中排泄率が最も高いのはどれか。

1. ^{67}Ga -クエン酸ガリウム
2. ^{81m}Kr ガス
3. ^{99m}Tc -MAG₃
4. ^{123}I -MIBG
5. ^{201}Tl -塩化タリウム

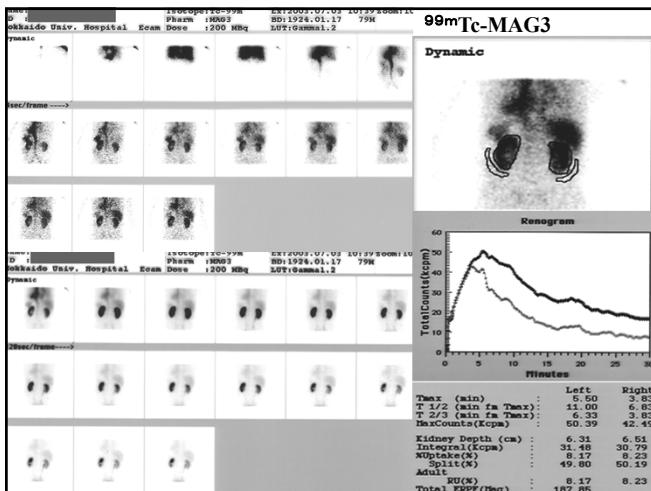
(注解) 3. ^{99m}Tc -MAG₃は尿中排泄率の高いことを利用して動態腎シンチグラフィに用いられ、投与後1時間の尿中排泄率は80%以上である。

^{67}Ga -クエン酸ガリウム、 ^{81m}Kr ガス、 ^{123}I -MIBG、 ^{201}Tl -塩化タリウムは、いずれも尿中排泄率が ^{99m}Tc -MAG₃よりも少ないので、腎関係のシンチグラフィに用いられるこことはない。

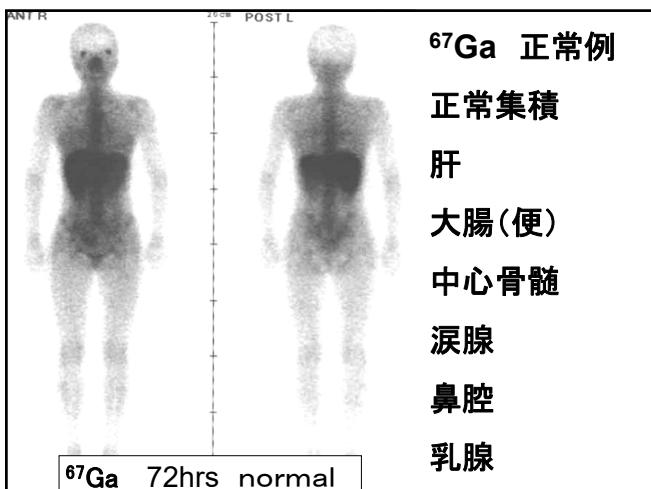
3

29

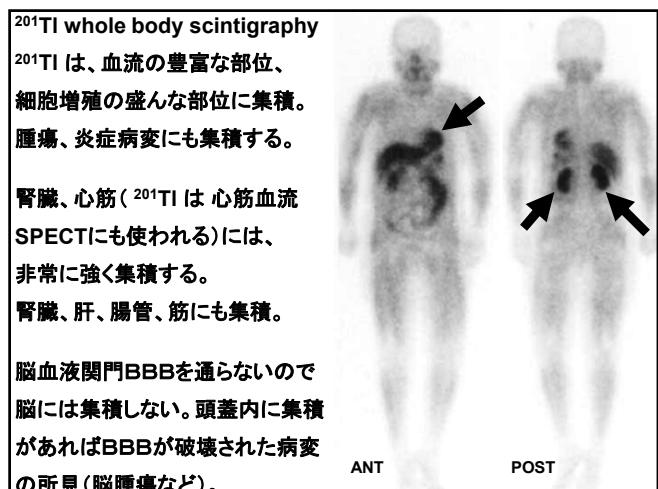
30



31



32



34

123I-MIBG(ヨードベンジルグアニン)
meta iodo benzyl guanidine

123I 159keV LEHR または 123I 専用コリメータ
111 MBq 静脈注射

20分後に、プラナー像とSPECT撮像
4時間後に、プラナー像とSPECT撮像

MIBGは、交感神経の終末端にノルエピネフリン(NE: 心臓の拍動を調節している神経伝達物質)と同じ機序で取り込まれるので、心筋の交感神経機能の評価に用いられる。

近年はパーキンソン病(全身の交感神経機能が低下)、およびパーキンソン病に伴う認知症(びまん性レビー小体型認知症)の診断のために、心筋MIBGシンチグラフィがよく施行される。

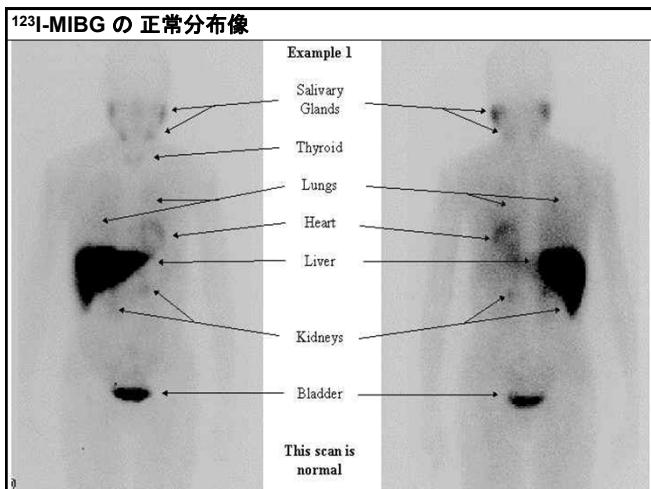
35

びまん性レビー小体型認知症 DLB (レビー小体型認知症)

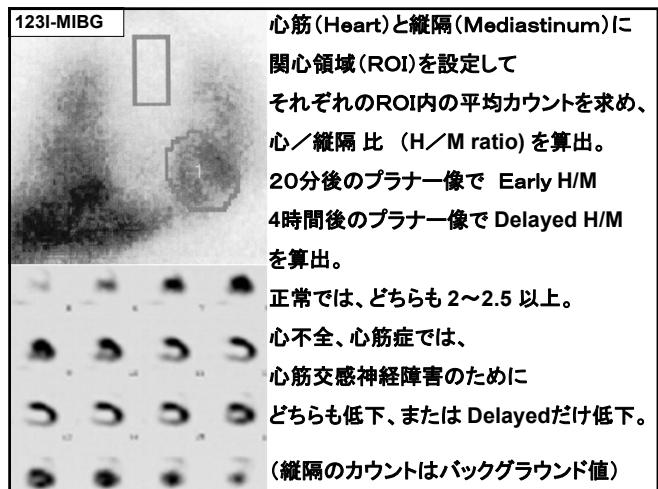
レビー小体は、パーキンソン病の異質、青斑核、迷走神経運動核などにみられる細胞内封入体で、パーキンソン病の病理学的特徴とされるものである。このレビー小体が大脳皮質にも多数出現し、臨床的に進行性の痴呆とパーキンソン症状を特徴とするものがびまん性レビー小体型認知症といわれるものである。

初老期、老年期に発症し、記憶障害から始まって徐々に痴呆症状が目立つようになり、経過中、筋固縮や寡動を主とするパーキンソン症状が加わってくる。このパーキンソン症状が目立つ前の初期に、しばしば幻覚や妄想を伴い認知機能の変動を呈しながら、徐々に痴呆が進行することが特徴とされる。

36



37



38

21年 国家試験 解答 1

骨シンチグラムを示す。適切な対応はどれか。

1. 排尿後に再度撮影する。
2. 感度補正後に再度撮影する。
3. 利尿剤投与後に再度撮影する。
4. 全身スキャンスピードを速めて再度撮影する。
5. コリメータを中エネルギー用に交換して再度撮影する。

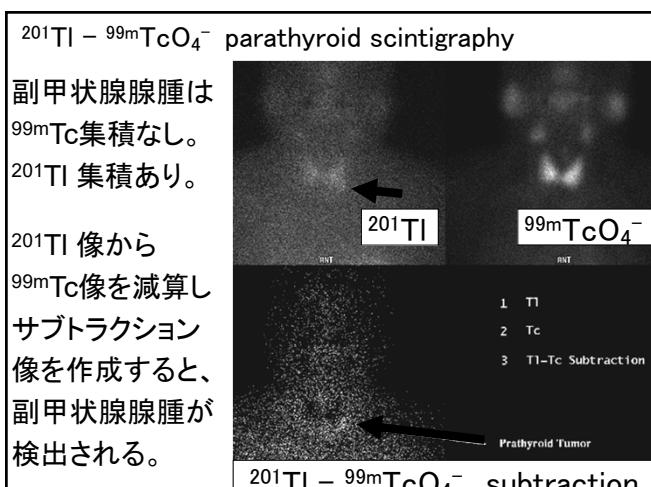
39

21年 国家試験 解答 3

腫瘍部が陰性像になる組合せで正しいのはどれか。

1. ^{18}F -FDG ————— 肺癌
2. ^{67}Ga -クエン酸ガリウム ————— 悪性リンパ腫
3. $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -フチン酸 ————— 転移性肝腫瘍
4. ^{131}I -MIBG ————— 褐色細胞腫
5. ^{201}Tl -塩化タリウム ————— 副甲状腺腺腫

40



41

【問題 4-101】(平成 12)

静脈注射後、糞便中に最も多く排泄されるのはどれか。

1. $^{81\text{m}}\text{Kr}$
2. $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -PMT
3. $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -MDP
4. $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -MAA
5. $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -MAG₃

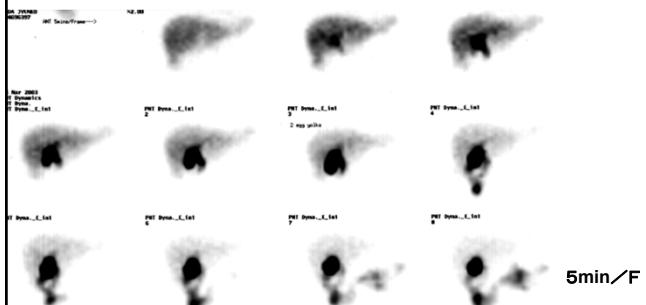
[注解] 2. $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -PMT は静注後肝実質細胞に選択的に取り込まれ、胆道系を経て消化管内に排泄されるので糞便中に最も多い。
 $^{81\text{m}}\text{Kr}$, $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -MDP, $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -MAA, $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -MAG₃は、いずれも消化管内に排泄されることはない。

2

42

^{99m}Tc-PMT 胆道シンチグラフィ

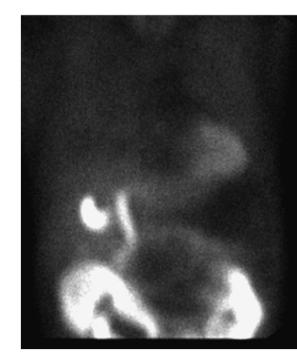
PMT(pyridoxyl-5-methyltryptophan)は、ビリルビン(赤血球が分解されたもの。胆汁の材料になる)の類似物質で、肝細胞に取り込まれ、速やかに胆汁へ排泄される。胆汁は便(stool)に移行する。



43

^{99m}Tc-MIBI, ^{99m}Tc-TFなど、心筋血流検査の薬剤も

胆汁排泄が多いので、胆道や腸管、便(stool)に多く集積。



^{99m}Tc-MIBI ^{99m}Tc-TF (Tetrofosmin)

44

21年 国家試験

解答 3

運動負荷²⁰¹Tl-塩化タリウム心筋血流SPECTで正しいのはどれか。

1. 負荷時検査よりも安静時検査を先に行う。
2. 運動負荷終了後約30分で撮影を開始する。
3. 運動負荷終了直後に²⁰¹Tl-塩化タリウムを投与する。
4. 虚血部位では²⁰¹Tl-塩化タリウムの洗い出しが遅い。
5. ²⁰¹Tl-塩化タリウムは受動拡散によって心筋細胞に集積する。

45

²⁰¹Tl Myocardial SPECT

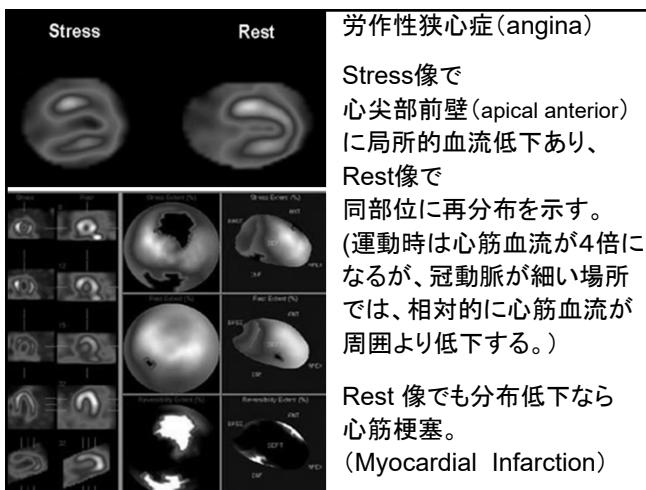
²⁰¹Tl 71 keV

• LEHRコリメータ

運動負荷、薬剤負荷(血管拡張剤ジピリダモール)直後に²⁰¹Tl 111MBq 静脈投与10分後にSPECT撮像。(Stress像)
4時間後に再度撮像するとRest像(安静像)を得る。

心電図同期収集をすると、拡張期、収縮期の心筋SPECTから壁運動評価、左室駆出率の算出が可能。

46



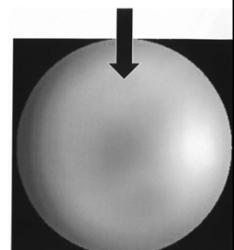
47

令和3年 国家試験

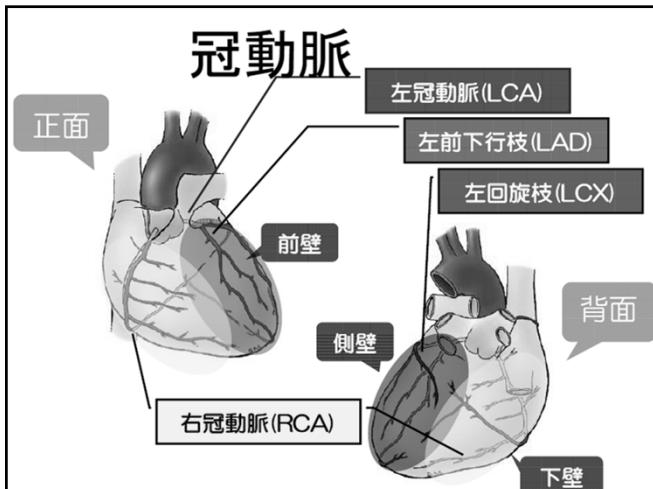
解答 2

心筋シンチグラフィの極座標表示を示す。
矢印で示す心筋壁はどれか。

1. 下壁
2. 前壁
3. 側壁
4. 中隔
5. 心尖部



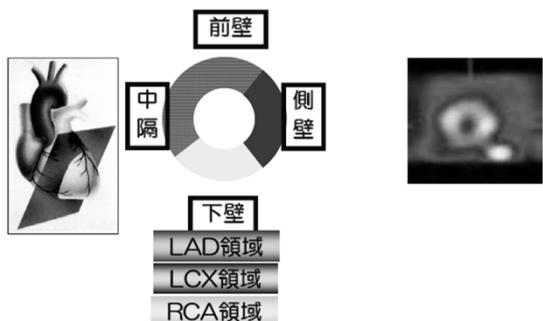
48



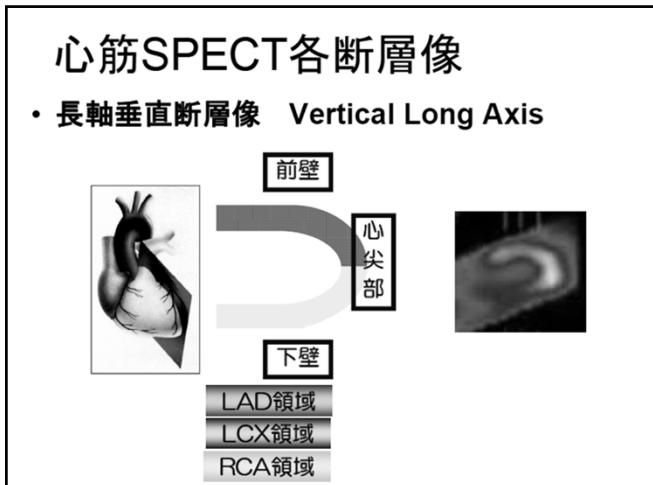
49

心筋SPECT各断層像

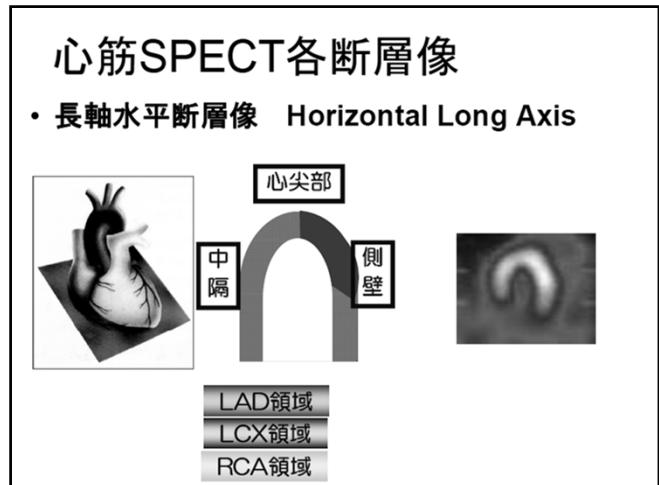
- 短軸断層像 Short Axial



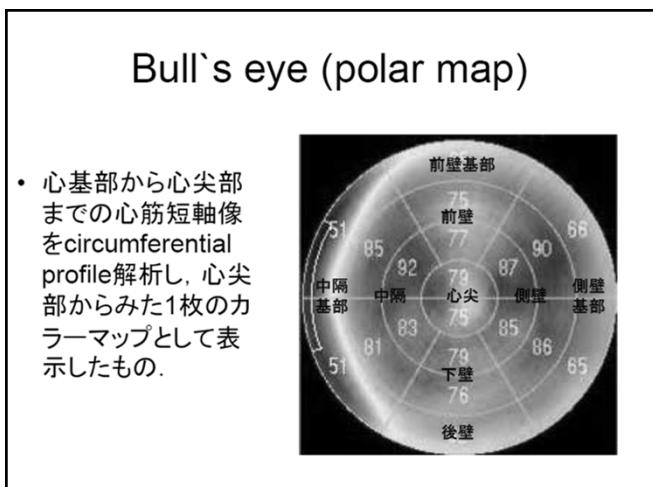
50



51



52



53

- 21年 国家試験** **解答 2, 3**
- 正しい組合せはどれか。2つ選べ。
1. ^{99m}Tc -MIBI ————— 心臓交感神経機能
 2. ^{99m}Tc -ヒト血清アルブミン —— 心機能
 3. ^{99m}Tc -ピロリン酸 ————— 心筋壊死
 4. ^{123}I -BMIPP ————— 心筋血流
 5. ^{123}I -MIBG ————— 心筋脂肪酸代謝

54